

# ひやつか



## ひやつかについて

県の西方ではひやつか(東ではマンバ)は冬の代表的な郷土野菜です。11月～3月が旬です。ひやつかはタカナ類の一種です。葉を外側から取っていっても次々芽をふくことからマンバ・ひやつかと呼ばれています。

独特のアツが特徴、寒くなるほど柔らかくなり甘味が増します。

昔は、一晩水にさらしアツ抜きをしていたそうですが、品種改良が進み、長時間アツ抜きをする必要がなくなったそうです。

選ぶポイントは、葉が暗く紫がかかった濃緑色のもの、厚くよく縮んでいるのがおすすめです。

ひやつかを湯がき、冷凍保存すると春先から夏にかけて楽しむことができます。

## 栄養

ほうれんそう並みの栄養がある野菜で、特にビタミンCはほうれんそうの2倍もあるのが特徴です。体の皮膚や粘膜など強くしてかぜを予防します。また、鉄分も多く含まれているので貧血の防止にも効果があります。

## おひたし

(1人分:エネルギー16kcal 塩分0.2g)

### 材料(2人分)

ひやつか	140 g
薄口しょうゆ	2 g
だし汁	6 cc
しょうが	1.4 g

- ① ひやつかはたっぷりの湯で茹で、水にさらしアツを抜く。水気を絞って3cmくらいに切る。
- ② 豆腐は軽く水気をきつておく。油揚げは短冊に切る。
- ③ 鍋に油を熱し、①を入れて炒める。続いて②の豆腐をくずしながら入れて最後に油揚げを入れて炒める。
- ④ だし汁、しょうゆ、みりんを入れて煮含める。

## せつか

(1人分:エネルギー122kcal 塩分1.5g)

### 材料(2人分)

ひやつか	320 g
木綿豆腐	50 g
油揚げ	15 g
油	6 g
しょうゆ	大さじ1
みりん	4.5 g
出汁汁	大さじ1

- ① ひやつかはたっぷりの湯で茹で、水にさらしアツを抜く。水気を絞って3cmくらいに切る。
- ② 豆腐は軽く水気をきつておく。油揚げは短冊に切る。
- ③ 鍋に油を熱し、①を入れて炒める。続いて②の豆腐をくずしながら入れて最後に油揚げを入れて炒める。
- ④ だし汁、しょうゆ、みりんを入れて煮含める。

## ロールマンバ

(1人分:エネルギー210kcal 塩分0.9g)

### 材料(2人分)

ひやつか	2枚	ナツメグ	少々
合びき肉	100 g	卵	30 g
たまねぎ	75 g	水	200cc
セロリ	45 g	トマト缶	250 g
塩こしょう	少々	固体コンソメ	1 g

- ① 玉ねぎ・セロリをみじん切りにする。
- ② ひやつかをしんなりするまで茹で、冷水にとり、水けをきる。
- ③ ボールに合びき肉・①・塩こしょう・ナツメグ・卵を混ぜよくねる。
- ④ ②を広げ、③を丸めたものを巻く。(ロールキャベツの要領で)
- ⑤ トマト缶を鍋に入れ、④を並べ、コンソメと水を加えて30分くらい弱火で煮る。

## 「毎食野菜を食べよう」キャッチフレーズ



### 大人の部入賞作品

- ・まず一口 一番最初にベジタブル！
- ・野菜大好き 健康家族
- ・健康は毎食食べる野菜から
- ・野菜たっぷり、元気モリモリ 健康家族
- ・毎食に添える野菜で健康長寿

マスコットキャラクター 元亀(げんき)くん

### 子どもの部入賞作品

- ・野さい大好き いただきます
- ・元気なやさいは、あまくておいしいよ
- ・元気なやさいを食べて元気いっぱい
- ・畑からテーブルへおいしいをたくさん！
- ・野菜は命